

 東光寺幼稚園 自己評価まとめ (R6 年度)

～子どもが輝く「遊び」「自然」「安心」の環境～

(※ 4 点満点中：平均点で各項目の到達度を表しています)

① 子どもが「最後までやり遂げる力」を育てる保育

平均評価：取組 2.7 点 / 成果 2.97 点

子ども一人ひとりの「できた！」という気持ちを見逃さず、保育者が丁寧に関わっています。その結果、子どもたちが遊びに集中し、自分で考え、工夫しながら最後までやり遂げようとする姿が多く見られるようになりました。

✓ 子どもたちの主体性が高まり、達成感を感じる保育をしています。

② 自然とふれあう体験を通して、心と感性を育む

平均評価：取組 2.4 点 / 成果 2.53 点

日々の保育に自然との関わりを取り入れ、草花や季節の変化に目を向ける機会を大切にしています。子どもたちは、自然を遊びの素材に変えながら、自分らしく楽しむ力を育んでいます。

✓ 自然豊かな環境で、五感を使ってのびのび成長しています。

③ 教職員同士の学び合いとチーム保育の実践

平均評価：取組 2.53 点 / 成果 2.87 点

保育者同士が日々の気づきを共有し、子どもの発達に応じた保育を協力して行っています。お互いの実践を尊重し合う風土があり、より良い保育をつくるための園内研修も活発です。

✓ チームで支える保育が、子ども一人ひとりの安心感につながっています。

④ 安心・安全を守る保育体制の強化

平均評価：取組 2.97 点 / 成果 2.8 点

避難訓練やヒヤリ・ハットの共有など、日常の中で安全意識を高める取り組みが着実に進んでいます。保育者が子どもの行動をよく見て、危険の芽を早く見つけられるようになってきました。

✓ 子どもも保育者も「安全」に対する意識が高まり、安心して過ごせる環境です。

教職員自己評価平均評価

1. 重点目標：「最後までやり遂げる子ども」

■ 取組指標

ステップ	具体的な取組内容	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	保育者が子どもと一緒に遊びながら、トキメキ・ヒラメキ・気づき・発見を見つける。	2.7	2.7	2.8
ステップ 2	「できた！」という経験を保育者が見逃さずに捉え、言葉で認める。			
ステップ 3	一人一人が意欲的に遊べるよう、スモールステップで成功体験を積める環境を整える。			
ステップ 4	自発的な遊びの継続・発展が見られるように、興味関心に基づいた環境構成を行う。			

■ 成果指標

ステップ	子どもの姿	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	自分の遊びに集中して取り組む姿が見られる。	2.9	3.0	3.0
ステップ 2	自分なりの「できた！」という手応えを感じている。			
ステップ 3	試行錯誤する姿が見られるようになった。			
ステップ 4	一人一人の興味関心に応じた遊びが継続・発展している。			

2. 「自然と関わる遊びを豊かにする」

■ 取組指標

ステップ	具体的な取組内容	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	子どもの自然との関わりを、トキメキ・ヒラメキの視点で観察する。	2.2	2.5	2.4
ステップ 2	自然遊びを日々の保育に取り入れる。			
ステップ 3	子どもと自然をつなぐ環境構成を見直し、保育に活かす。			
ステップ 4	保育者が子どもと共に自然の変化を楽しみ、意図を持った関わりを深める。			

■ 成果指標

ステップ	子どもの姿	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	自然の様子に目を向けるようになった。	2.3	2.6	2.7
ステップ 2	自然を遊びに取り入れるようになった。			
ステップ 3	興味関心が広がり、保育者も自然に関心を持つようになった。			
ステップ 4	主体的に自然と関わり、自分たちで遊びを生み出すようになった。			

3. 「同僚性を高める園内研修の実施」

■ 取組指標

ステップ	具体的な取組内容	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	トキメキノートなどを活用し、学年ごとに振り返る。	2.6	2.5	2.5
ステップ 2	保育の振り返りを通して、翌日の環境構成に反映する。			
ステップ 3	園内研修の学びを保育に活かす取り組みを継続する。			
ステップ 4	指導計画と教育要領をもとに、幼児の発達理解を深める。			

■ 成果指標

ステップ	教職員の変化	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	子どもの興味関心を意識して保育を行うようになった。	2.7	3.0	2.9
ステップ 2	他の保育者の実践に関心を持つようになった。			
ステップ 3	子どもの遊びの充実を互いに伝え合うようになった。			

ステップ 4	同じ視点で子どもを捉え、対話・共有する姿が増えた。			
--------	---------------------------	--	--	--

4. 「教職員・幼児の安全対応力を高める」

■ 取組指標

ステップ	具体的な取組内容	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	安全計画に基づき、避難訓練等を行い、幼児の安全に対する意識を育む。	2.8	3.1	3.0
ステップ 2	保育の中で「ヒヤリ」「ハット」を感じ、振り返りの中で記録する。			
ステップ 3	ヒヤリハットを共有し、安全について考える。			
ステップ 4	保育の中で「ヒヤリ」「ハット」を感じたときに、幼児と一緒に安全について考える。			

■ 成果指標

ステップ	教職員の変化	1 学期	2 学期	3 学期
ステップ 1	避難訓練の大切さがわかり、真剣に取り組むようになった。	2.7	2.9	2.8
ステップ 2	イメージしながら子どもの遊びを見守るようになった。			
ステップ 3	遊びや活動での保育者の立ち位置を意識し、声を掛け合って連携が活発になった。			
ステップ 4	子どもたちの怪我が少なくなった。			